

研究集会 京城の能成、東京の能成

—〈安倍能成日記〉から見えてきたもの—

日時：令和7（2025）年12月20日（土） 13:00～18:00（予定）

場所：東京大学駒場地区キャンパス 1号館157番教室

主催：安倍能成日記研究会（科学研究費・基盤（C）「京城時代の安倍能成」）



【次第】

開会の挨拶・趣旨説明・来賓紹介（13:00～13:10）



第1部：基調講演（13:10～14:00）

高田里恵子（桃山学院大学）

安倍能成、「正直」と「いい加減」のあいだで

第2部：研究報告（14:10～16:50）〔休憩 15:40～15:50〕

通堂あゆみ（武蔵高等学校中学校）14:10～14:40

移動し、異動する帝大教授たち

許智香（立命館大学）14:40～15:10

京城帝大哲学科と安倍能成—朝鮮人学生との接点を中心に—

新里瑠璃子（長崎外国語大学）15:10～15:40

京城帝大予科の修業年限改正について—安倍能成の外国語教育観

青木一平（江戸川学園取手高等学校）15:50～16:20

「安倍能成日記」からみる岩波文化と安倍能成（仮）

福嶋寛之（福岡大学）16:20～16:50

その後の安倍能成—海軍省思想懇談会での民族政策論を手がかりに

【講演者プロフィール】

神奈川県出身 東京大学独文科卒

桃山学院大学経営学部教授

主な著書に『文学部をめぐる病い』

『学歴・階級・軍隊』など

第3部：総合討論（17:00～17:55）「安倍日記を縦横に語る」

コメンテーター：

中野目徹（筑波大学）・山口輝臣（東京大学）

桑尾光太郎（学習院大学） その他

※進行：永島広紀（九州大学）

終会の辞（17:55）



京城帝大予科の「ストーム」



浅川巧の墓所に詣でる安倍一家
(1938年4月3日 於: 京城・清涼里)



懇親会（18:30～）

↑ 参加のお申込みはこちらから